



令和2年5月13日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 佐藤 恵治

室長補佐 佐々木 和之(内線 7473)

室長補佐 柏木 貴久子(内線 7494)

(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2321

## 第9回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況

### 目 次

調査の概要 .....	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化 .....	3
2 子どもの生活の状況	
(1) 放課後に過ごす場所 .....	5
(2) 習い事等 .....	6
(3) 母と一緒に過ごしている時間 .....	7
3 父母の喫煙状況 .....	8
統計表 .....	9
用語の定義 .....	15

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス ( [https://www.mhlw.go.jp/toukei\\_hakusho/toukei/](https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/) )

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 22 年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である平成 13 年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

## 2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 9 回調査における対象児は 9 歳（小学 3 年生）である。

## 3 調査の時期

令和元年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日である。）

## 4 調査事項

父母の就業状況、家族の状況、子どもの状況、学校生活・放課後のようす、家庭学習、習い事等、子育て費用、子育てに関する意識、父母の喫煙状況 等

## 5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）において行った。

## 6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%
<b>第 9 回</b>	<b>27,397</b>	<b>24,204</b>	<b>88.3%</b>

## 7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。  
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

統計項目のあり得ない場合	・
--------------	---

- (4) 「出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年出生児」、「平成22年出生児」としている。  
なお、「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としたものである。

# 結果の概要

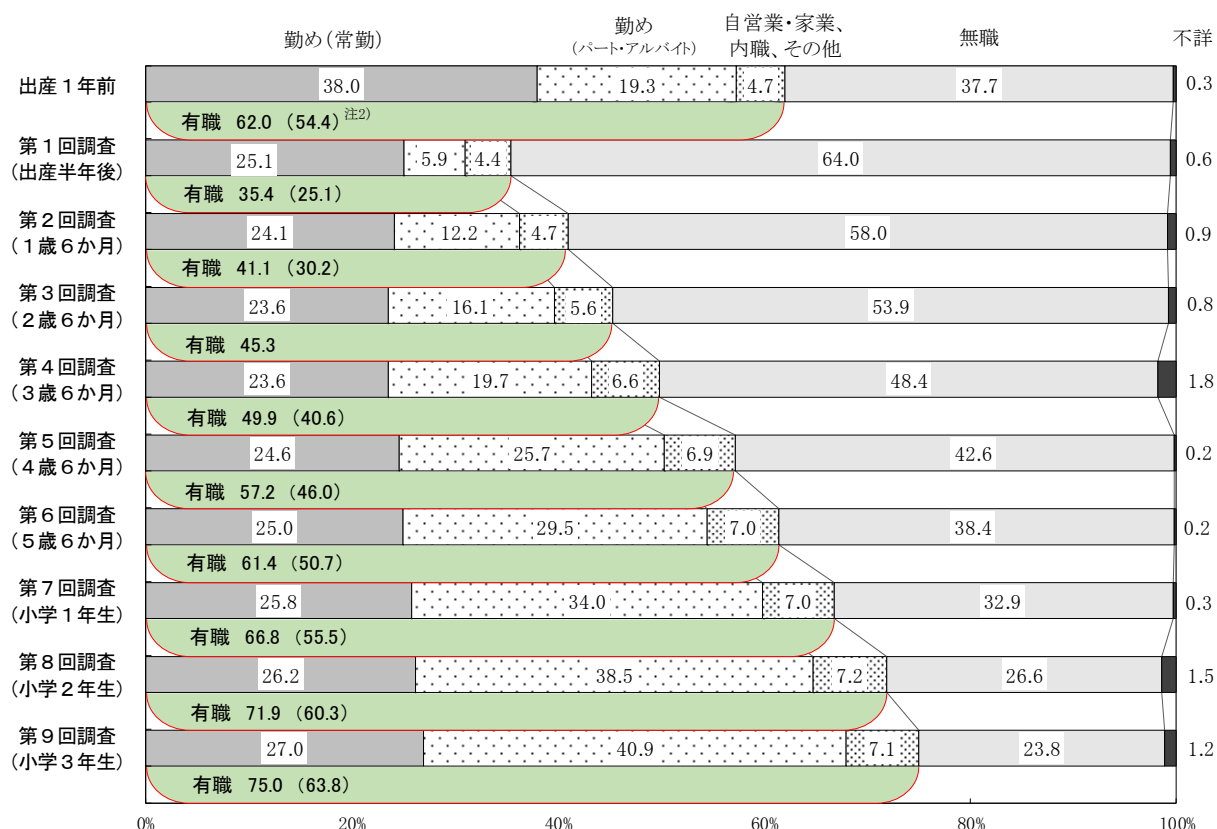
## 1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第9回調査（小学3年生）で75.0%となり、平成13年出生児（第9回）の63.8%に比べて11.2ポイント高い

母が有職の割合は、出産1年前の62.0%が第1回調査（出産半年後）で35.4%に低下したが、その後は年々上昇し、第9回調査（小学3年生）では75.0%となり、平成13年出生児（第9回）の63.8%に比べて11.2ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の25.1%から第9回調査（小学3年生）の27.0%までゆるやかな上昇傾向であり、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の5.9%から年々上昇し、第9回調査（小学3年生）では40.9%となっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



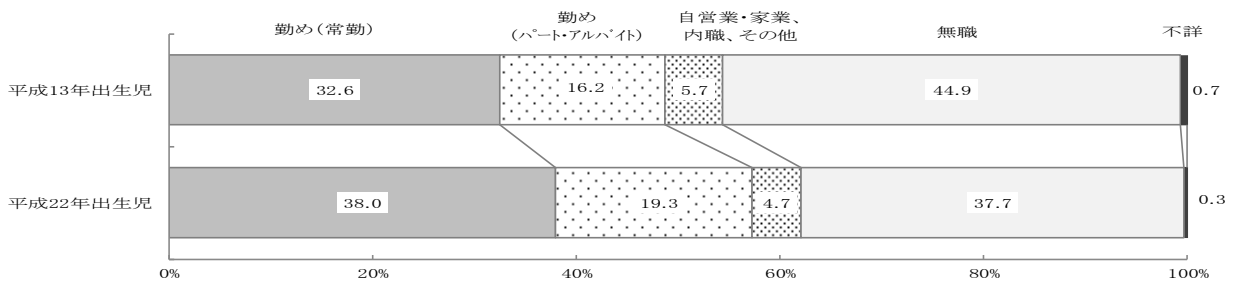
注：1) 平成22年出生児の第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 19,606）を集計。  
 2) ( )内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 30,847）を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第9回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では37.5%で、平成13年出生児の26.6%に比べて10.9ポイント高い

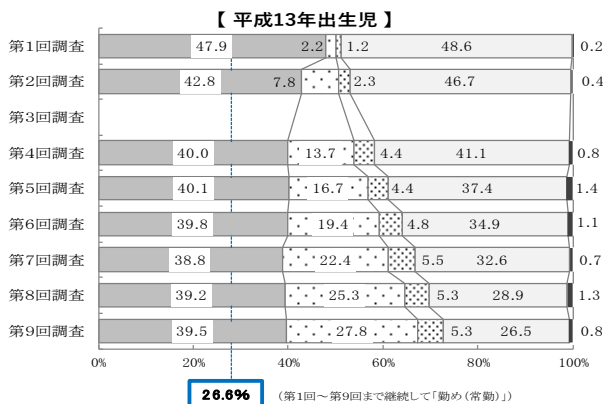
出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母について、第1回調査から第9回調査までの就業状況の変化をみると、平成22年出生児の各回における「勤め（常勤）」の母の割合は平成13年出生児よりも高い割合で推移し、さらに、第1回調査から第9回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は平成22年出生児では37.5%で、平成13年出生児の26.6%に比べて10.9ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

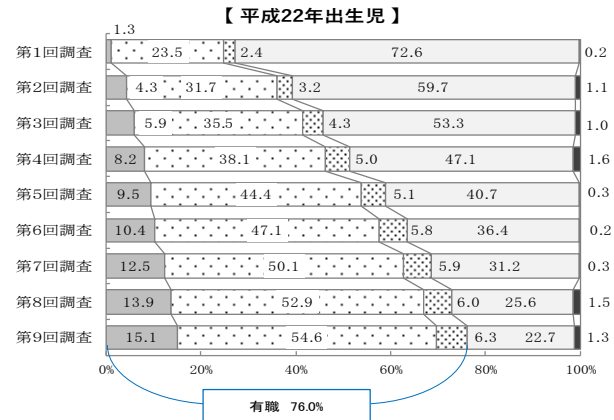
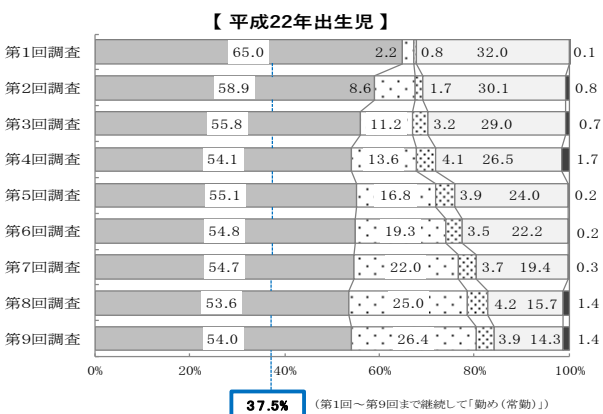
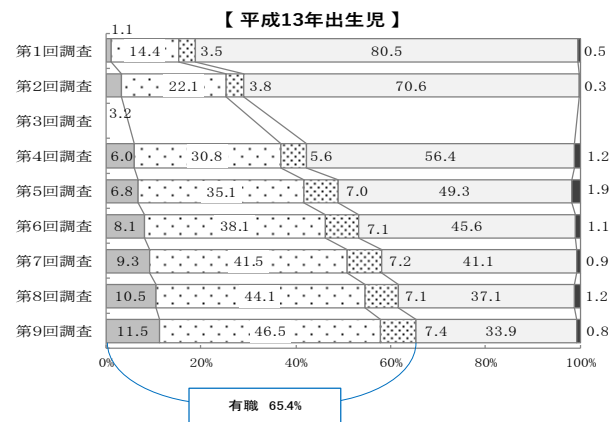
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児総数30,847、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」10,049、「勤め（パート・アルバイト）」4,985、平成22年出生児総数19,606、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」7,454、「勤め（パート・アルバイト）」3,787）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

## 2 子どもの生活の状況

### (1) 放課後に過ごす場所

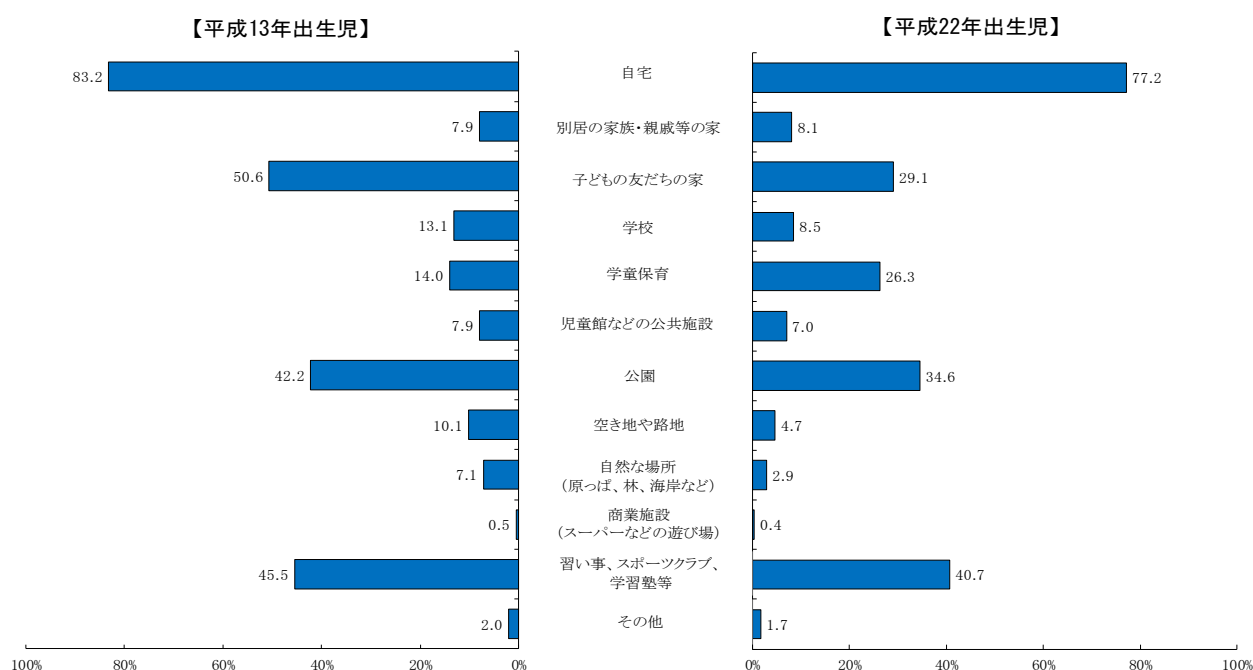
放課後に過ごす場所は、「学童保育」の割合は26.3%と、平成13年出生児(第9回)の14.0%に比べて12.3ポイント高い

平成22年出生児について、放課後に過ごす場所(複数回答)をみると、「自宅」が77.2%と最も高く、次いで「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」が40.7%、「公園」が34.6%の順となっている。

また、平成13年出生児と比較すると、「学童保育」の割合は12.3ポイント高くなっている。(図3)

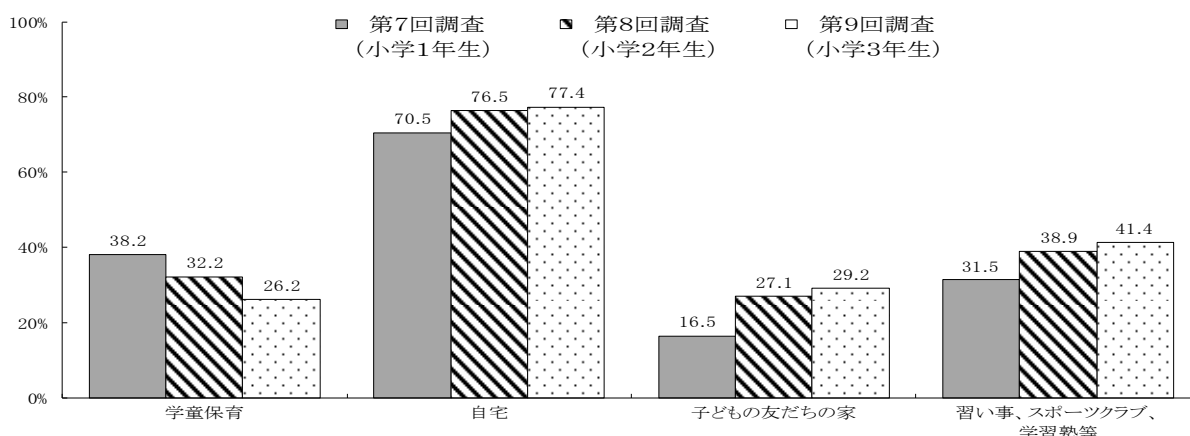
平成22年出生児について、第7回調査(小学1年生)から第9回調査(小学3年生)までの放課後に過ごす場所(複数回答)の変化をみると、学年が上がるにつれて「学童保育」の割合が低下している一方、「自宅」、「子どもの友だちの家」、「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」の割合は上昇している(図4)。

図3 放課後に過ごす場所の世代間比較(複数回答)



注：第9回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数35,264、平成22年出生児総数24,204)を集計。

図4 放課後に過ごす場所の変化(複数回答)【平成22年出生児】



注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数21,744)を集計。

## (2) 習い事等

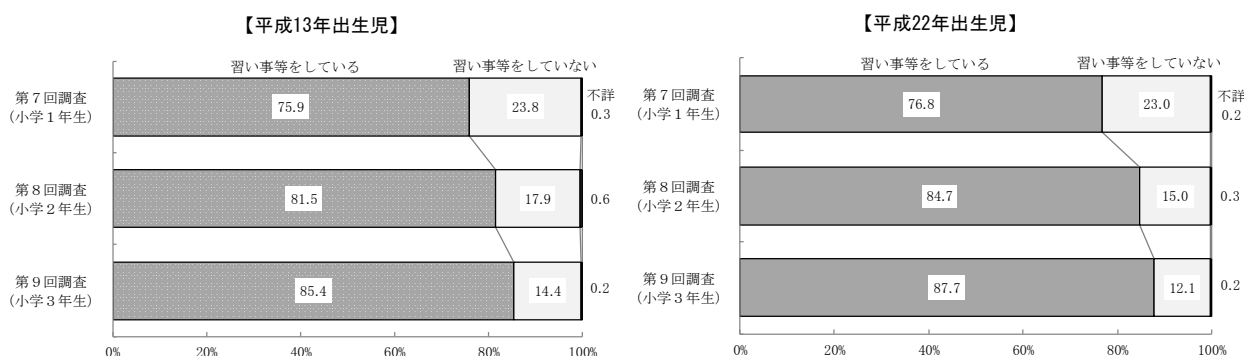
「習い事等をしている」割合は 87.7%で、学年が上がるにつれて上昇

平成 22 年出生児（第 9 回）の「習い事等をしている」割合は 87.7%であり、平成 13 年出生児（第 9 回）の 85.4%に比べて 2.3 ポイント高くなっている。

第 7 回調査（小学 1 年生）から第 9 回調査（小学 3 年生）までの習い事等の有無の変化をみると、平成 22 年出生児、平成 13 年出生児のいずれも、学年が上がるにつれて「習い事等をしている」割合が上昇している。（図 5）

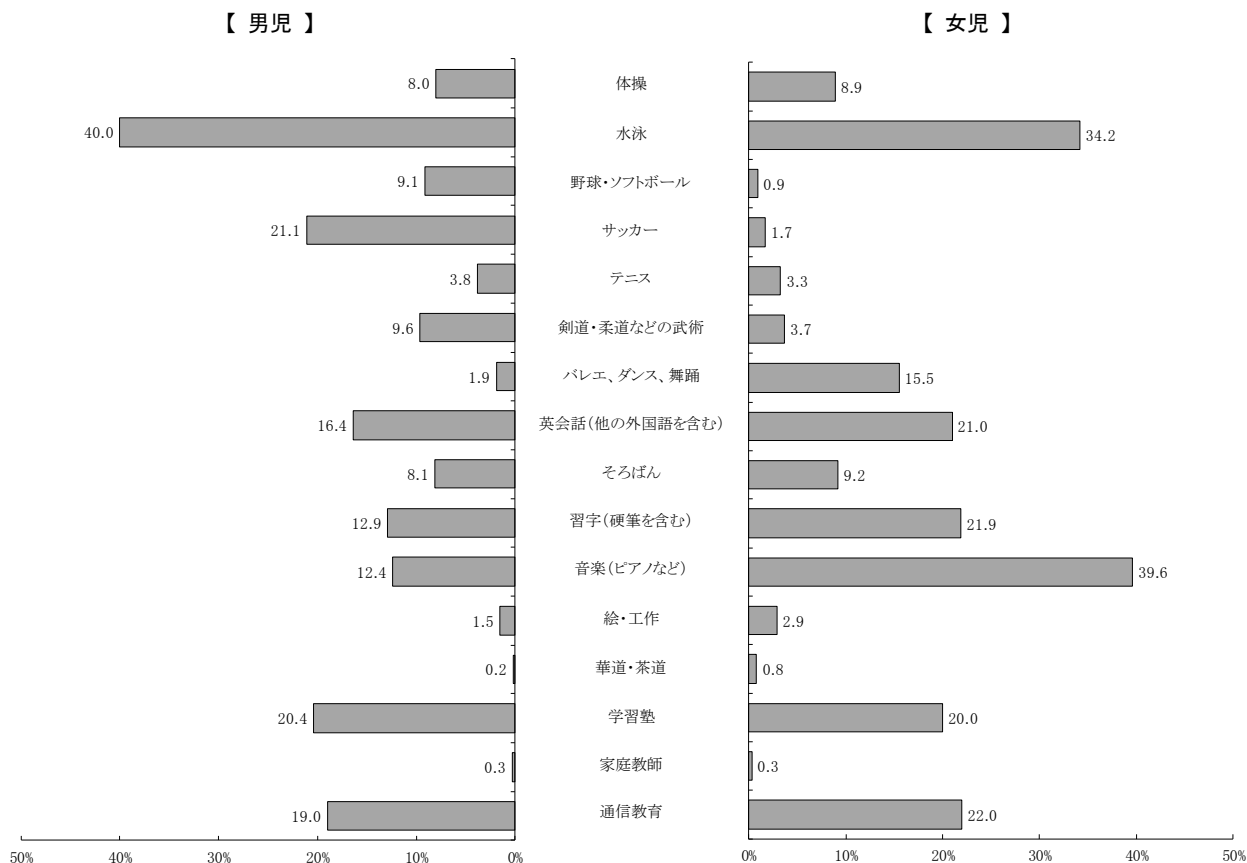
また、平成 22 年出生児について、性別に習い事等の種類（複数回答）をみると、男児では「水泳」が 40.0%と最も高く、次いで「サッカー」が 21.1%、「学習塾」が 20.4%、「通信教育」が 19.0%となっている。女児では「音楽（ピアノなど）」が 39.6%と最も高く、次いで「水泳」が 34.2%、「通信教育」が 22.0%、「習字（硬筆を含む）」が 21.9%となっている。（図 6）

図 5 習い事等の有無の変化・世代間比較



注：第 7 回調査から第 9 回調査まですべて回答を得た者（平成 13 年出生児総数 33,316、平成 22 年出生児総数 21,744）を集計。

図 6 性別にみた習い事等の種類（複数回答）【平成 22 年出生児】



注：第 9 回調査の回答を得た者（総数 24,204（男児 12,423、女児 11,781））を集計。

### (3) 母と一緒に過ごしている時間

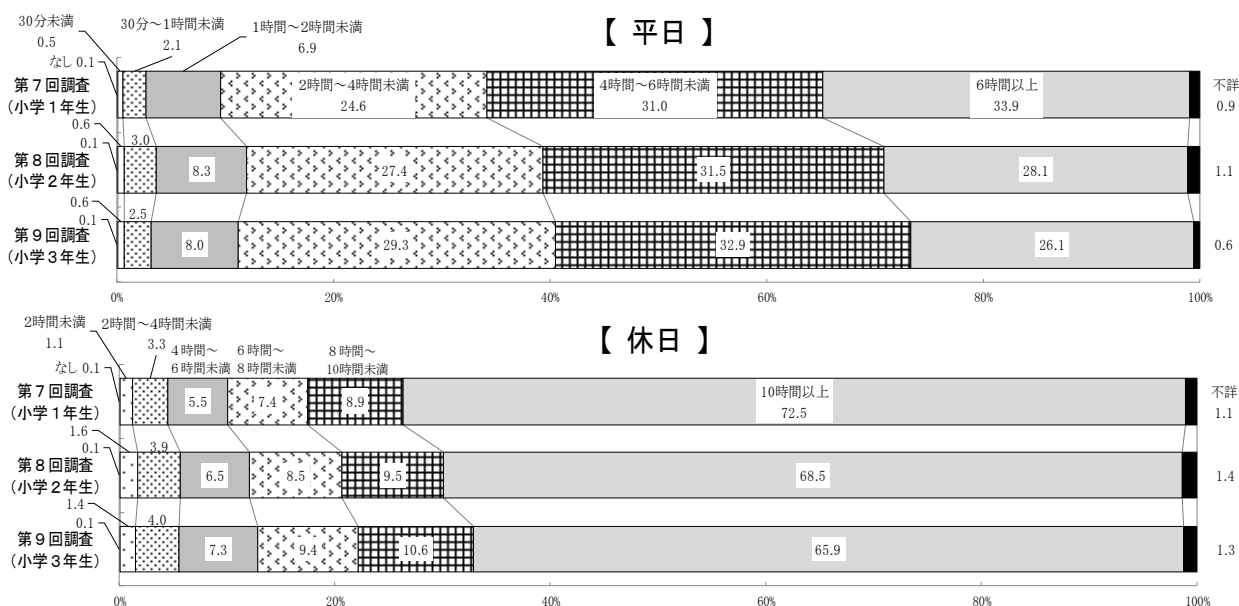
母と一緒に過ごしている時間は、平日の最も長い時間帯の「6時間以上」は26.1%、休日の最も長い時間帯の「10時間以上」は65.9%となっており、学年が上がるにつれて低下

平成22年出生児（第9回）について、母と一緒に過ごしている時間をみると、平日の最も長い時間帯の「6時間以上」は26.1%、休日の最も長い時間帯の「10時間以上」は65.9%となっている。

第7回調査（小学1年生）から第9回調査（小学3年生）までの平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の変化をみると、平日、休日ともに、学年が上がるにつれて長時間（平日は「6時間以上」、休日は「10時間以上」）。以下同じ。）の割合は低下している。（図7）

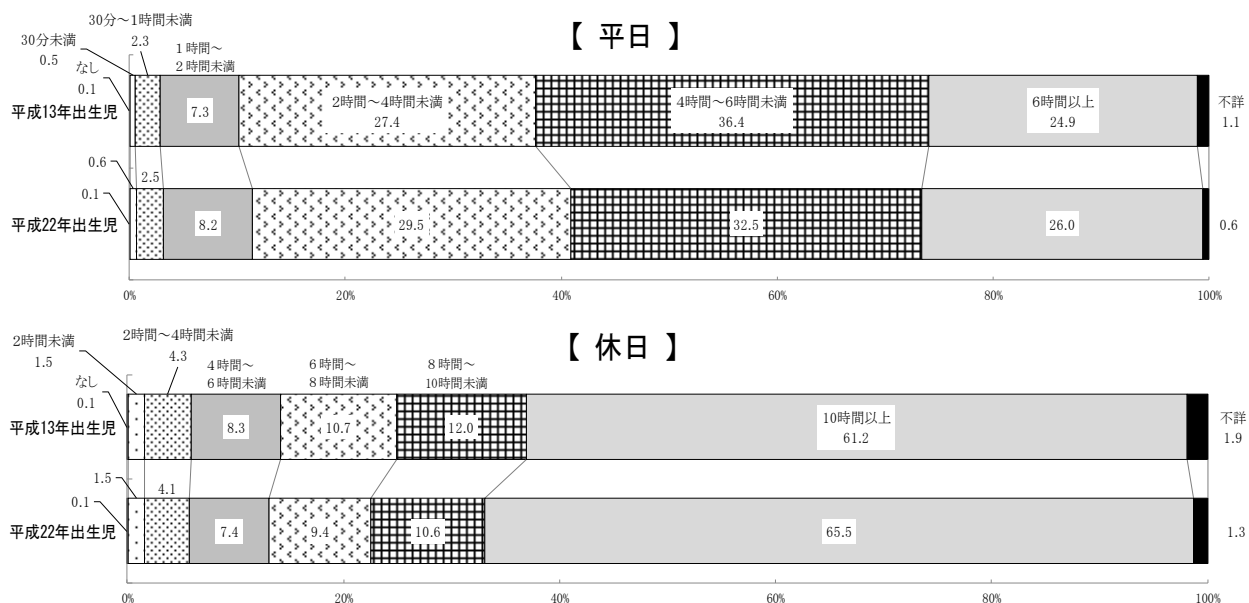
また、平成13年出生児と比較すると、いずれも長時間の割合は高くなっている（図8）。

図7 平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の変化【平成22年出生児】



注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数21,625）を集計。

図8 平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の世代間比較



注：第9回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者（平成13年出生児総数34,961、平成22年出生児総数24,077）を集計。



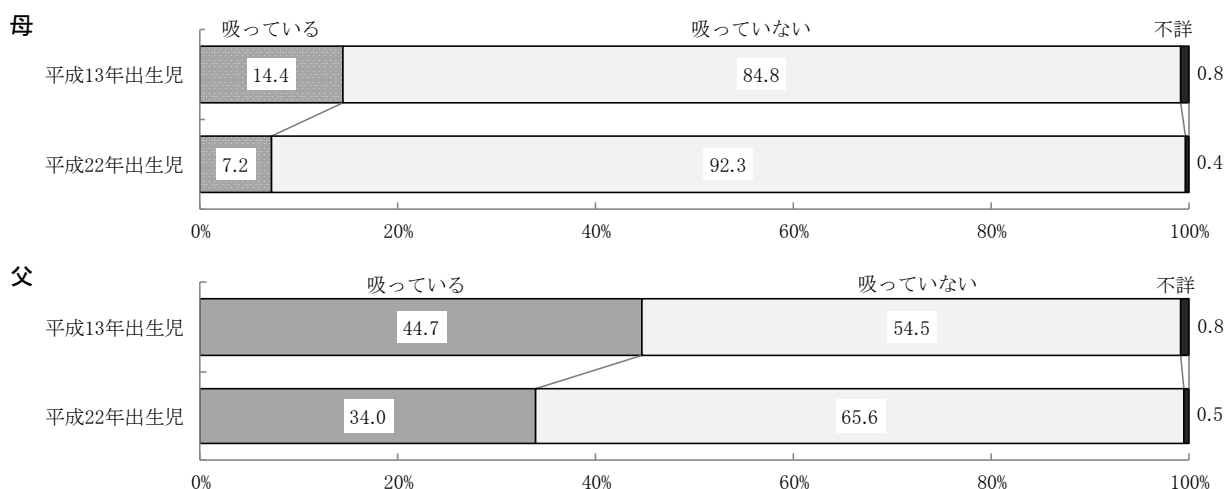
### 3 父母の喫煙状況

#### 母・父がたばこを「吸っている」割合は、平成13年出生児（第9回）と比べて低い

平成22年出生児について、父母の喫煙状況をみると、母がたばこを「吸っている」割合は7.2%で、平成13年出生児の14.4%より7.2ポイント低く、父が「吸っている」割合は34.0%で、平成13年出生児の44.7%より10.7ポイント低くなっている（図9）。

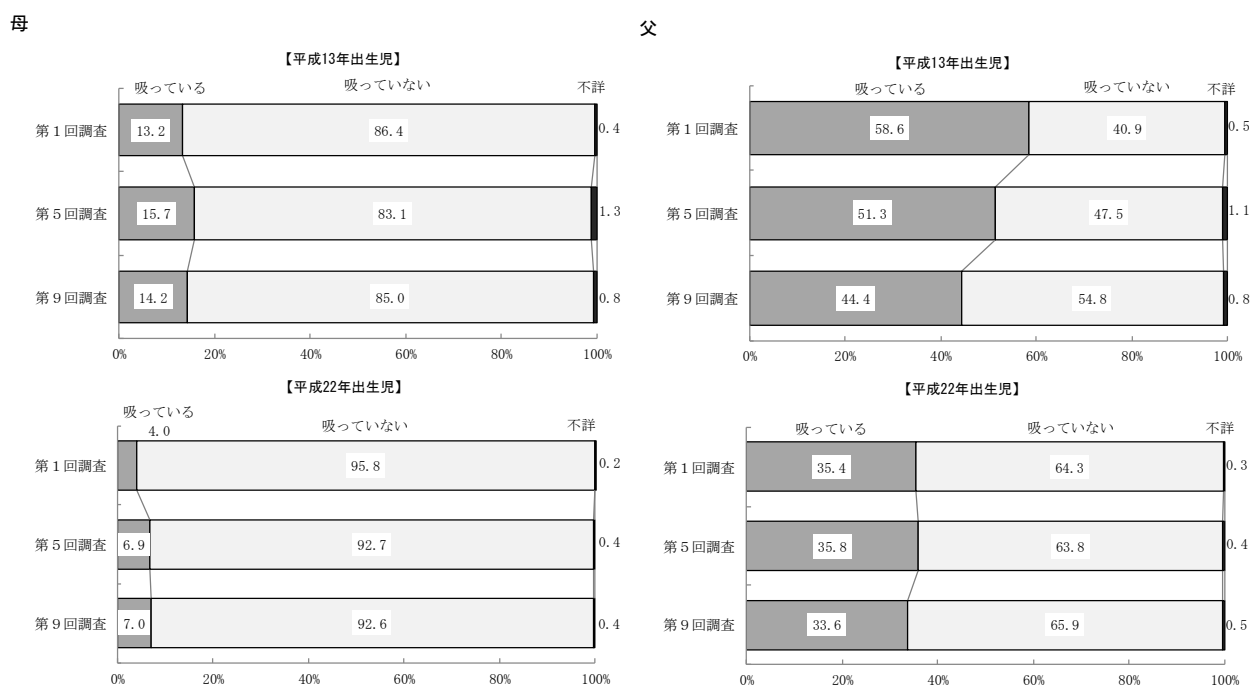
また、平成13年出生児と平成22年出生児の第1回調査、第5回調査及び第9回調査の推移を比較すると、母はいずれも第5回調査で上昇しているが、その割合は母・父ともに平成13年出生児よりも平成22年出生児は低い割合で推移している（図10）。

図9 母一父の喫煙状況の世代間比較



注：母の喫煙状況は第9回調査で母と同居している者（平成13年出生児総数34,961、平成22年出生児総数24,077）を、父の喫煙状況は第9回調査で父と同居している者（平成13年出生児総数32,453、平成22年出生児総数22,453）を集計。

図10 母一父の喫煙状況の変化・世代間比較



注：母の喫煙状況は第1回調査、第5回調査及び第9回調査のすべてで母と同居している者（平成13年出生児総数34,125、平成22年出生児総数23,228）を、父の喫煙状況は第1回調査、第5回調査及び第9回調査のすべてで父と同居している者（平成13年出生児総数31,229、平成22年出生児総数21,441）を集計。

# 統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

就業状況 調査回	平成22年出生児						平成13年出生児	
	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前	19 606	7 454	3 787	918	7 386	61	30 847	16 782
第1回調査(出産半年後)	19 606	4 930	1 157	855	12 550	114	30 847	7 750
第2回調査	19 606	4 734	2 394	924	11 371	183	30 847	9 312
第3回調査	19 606	4 620	3 157	1 102	10 567	160	30 847	・
第4回調査	19 606	4 620	3 870	1 288	9 484	344	30 847	12 524
第5回調査	19 606	4 820	5 037	1 357	8 345	47	30 847	14 185
第6回調査	19 606	4 897	5 778	1 363	7 523	45	30 847	15 644
第7回調査	19 606	5 053	6 662	1 381	6 456	54	30 847	17 107
第8回調査	19 606	5 140	7 557	1 405	5 212	292	30 847	18 589
第9回調査	19 606	5 291	8 028	1 386	4 664	237	30 847	19 676

注：第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（4頁図2）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第9回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
<b>(1) 出産1年前の母の就業状況</b>								
	平成13年出生児	30 847	10 049	4 985	1 748	13 842	223	
	平成22年出生児	19 606	7 454	3 787	918	7 386	61	
<b>(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化</b>								
	平成13年出生児							
	第1回調査	10 049	4 811	223	117	4 879	19	・
	第2回調査	10 049	4 297	781	230	4 696	45	・
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	10 049	4 021	1 378	438	4 130	82	・
	第5回調査	10 049	4 028	1 675	447	3 763	136	・
	第6回調査	10 049	3 997	1 950	483	3 512	107	・
	第7回調査	10 049	3 901	2 251	549	3 275	73	・
	第8回調査	10 049	3 939	2 539	536	2 904	131	・
	第9回調査	10 049	3 973	2 798	535	2 661	82	2 669
	平成22年出生児							
	第1回調査	7 454	4 845	164	56	2 384	5	・
	第2回調査	7 454	4 388	644	124	2 240	58	・
	第3回調査	7 454	4 161	836	239	2 165	53	・
	第4回調査	7 454	4 031	1 014	308	1 976	125	・
	第5回調査	7 454	4 108	1 252	293	1 788	13	・
	第6回調査	7 454	4 084	1 437	262	1 654	17	・
	第7回調査	7 454	4 075	1 639	274	1 446	20	・
	第8回調査	7 454	3 993	1 866	316	1 171	108	・
	第9回調査	7 454	4 025	1 969	287	1 067	106	2 794
<b>(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化</b>								
	平成13年出生児							
	第1回調査	4 985	55	720	175	4 012	23	
	第2回調査	4 985	159	1 100	191	3 519	16	
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	
	第4回調査	4 985	297	1 535	279	2 812	62	
	第5回調査	4 985	340	1 748	347	2 456	94	
	第6回調査	4 985	403	1 897	356	2 275	54	
	第7回調査	4 985	463	2 070	358	2 050	44	
	第8回調査	4 985	525	2 196	352	1 851	61	
	第9回調査	4 985	573	2 318	367	1 688	39	
	平成22年出生児							
	第1回調査	3 787	50	890	90	2 749	8	
	第2回調査	3 787	162	1 199	123	2 260	43	
	第3回調査	3 787	225	1 345	162	2 018	37	
	第4回調査	3 787	312	1 441	189	1 785	60	
	第5回調査	3 787	358	1 683	193	1 543	10	
	第6回調査	3 787	394	1 783	221	1 380	9	
	第7回調査	3 787	474	1 897	223	1 180	13	
	第8回調査	3 787	526	2 004	229	970	58	
	第9回調査	3 787	571	2 067	239	861	49	

注：第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 3 放課後に過ごす場所の世代間比較（複数回答）（5 頁図 3）

（単位：人）

	平成13年 出生児	平成22年 出生児
総数	35 264	24 204
自宅	29 350	18 676
別居の家族・親戚等の家	2 775	1 951
子どもの友だちの家	17 860	7 034
学校	4 615	2 051
学童保育	4 925	6 372
児童館などの公共施設	2 779	1 698
公園	14 879	8 373
空き地や路地	3 559	1 147
自然な場所(原っぱ、林、海岸など)	2 497	696
商業施設(スーパーなどの遊び場)	160	87
習い事、スポーツクラブ、学習塾等	16 054	9 857
その他	699	417

注：第9回調査の回答を得た者を集計。

統計表 4 放課後に過ごす場所の変化（複数回答）【平成 22 年出生児】（5 頁図 4）

（単位：人）

	総数	学童保育	自宅	子どもの 友だちの家	習い事、 スポーツ クラブ、 学習塾等
第7回調査	21 744	8 315	15 334	3 598	6 848
第8回調査	21 744	6 995	16 624	5 894	8 460
第9回調査	21 744	5 701	16 831	6 355	9 003

注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表5 習い事等の有無の変化・世代間比較（6頁図5）

（単位：人）

	総数	習い事等をしている	習い事等をしていない	不詳
平成13年出生児				
第7回調査	33 316	25 288	7 940	88
第8回調査	33 316	27 165	5 962	189
第9回調査	33 316	28 447	4 809	60
平成22年出生児				
第7回調査	21 744	16 700	5 004	40
第8回調査	21 744	18 421	3 262	61
第9回調査	21 744	19 080	2 631	33

注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表6 性別にみた習い事等の種類（複数回答）【平成22年出生児】（6頁図6）

（単位：人）

	男児	女児
総数	12 423	11 781
体操	994	1 044
水泳	4 974	4 033
野球・ソフトボール	1 125	101
サッカー	2 618	201
テニス	477	389
剣道・柔道などの武術	1 195	440
バレエ、ダンス、舞踊	231	1 825
英会話（他の外国語を含む）	2 037	2 479
そろばん	1 010	1 086
習字（硬筆を含む）	1 601	2 577
音楽（ピアノなど）	1 536	4 662
絵・工作	184	339
華道・茶道	23	97
学習塾	2 531	2 352
家庭教師	34	33
通信教育	2 366	2 593

注：第9回調査の回答を得た者を集計。

統計表7 平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の変化【平成22年出生児】（7頁図7）

（単位：人）

	平日								
	総数	なし	30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 4時間未満	4時間～ 6時間未満	6時間以上	不詳
第7回調査	21 625	12	102	458	1 496	5 323	6 708	7 335	191
第8回調査	21 625	16	122	647	1 795	5 934	6 804	6 078	229
第9回調査	21 625	22	137	532	1 733	6 330	7 107	5 645	119

	休日								
	総数	なし	2時間未満	2時間～ 4時間未満	4時間～ 6時間未満	6時間～ 8時間未満	8時間～ 10時間未満	10時間以上	不詳
第7回調査	21 625	14	243	722	1 189	1 608	1 924	15 688	237
第8回調査	21 625	11	348	833	1 411	1 844	2 058	14 816	304
第9回調査	21 625	30	303	866	1 580	2 033	2 282	14 250	281

注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

統計表8 平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の世代間比較（7頁図8）

（単位：人）

	平日								
	総数	なし	30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 4時間未満	4時間～ 6時間未満	6時間以上	不詳
平成13年出生児	34 961	32	175	795	2 547	9 575	12 743	8 707	387
平成22年出生児	24 077	25	156	593	1 986	7 102	7 823	6 253	139

	休日								
	総数	なし	2時間未満	2時間～ 4時間未満	4時間～ 6時間未満	6時間～ 8時間未満	8時間～ 10時間未満	10時間以上	不詳
平成13年出生児	34 961	40	513	1 511	2 906	3 745	4 195	21 397	654
平成22年出生児	24 077	34	351	991	1 774	2 274	2 555	15 774	324

注：第9回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者を集計。

統計表 9 母一父の喫煙状況の世代間比較（8頁図9）

(単位:人)

	総数	吸っている	吸っていない	不詳
母				
平成13年出生児	34 961	5 036	29 640	285
平成22年出生児	24 077	1 741	22 230	106
父				
平成13年出生児	32 453	14 516	17 683	254
平成22年出生児	22 453	7 626	14 723	104

注：母の喫煙状況は第9回調査で母と同居している者を、父の喫煙状況は第9回調査で父と同居している者を集計。

統計表 10 母一父の喫煙状況の変化・世代間比較（8頁図10）

(単位:人)

	総数	吸っている	吸っていない	不詳
母				
平成13年出生児				
第1回調査	34 125	4 519	29 471	135
第5回調査	34 125	5 351	28 347	427
第9回調査	34 125	4 837	29 010	278
平成22年出生児				
第1回調査	23 228	934	22 247	47
第5回調査	23 228	1 608	21 531	89
第9回調査	23 228	1 625	21 502	101
父				
平成13年出生児				
第1回調査	31 229	18 308	12 773	148
第5回調査	31 229	16 029	14 843	357
第9回調査	31 229	13 872	17 114	243
平成22年出生児				
第1回調査	21 441	7 583	13 788	70
第5回調査	21 441	7 670	13 681	90
第9回調査	21 441	7 210	14 132	99

注：母の喫煙状況は第1回調査、第5回調査及び第9回調査のすべてで母と同居している者を、父の喫煙状況は第1回調査、第5回調査及び第9回調査のすべてで父と同居している者を集計。

## 用語の定義

### (1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（概ね3か月以上）にわたって不在にしている者。
- ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。  
ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

### (2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。  
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。